

地区別説明会意見の概要

■説明会参加者数 赤名29名 頓原26名 志々37名 来島33名 計125名※延べ人数

■アンケート回答者41名／説明会参加者延べ125名 回収率32.8%

■ホームページに届いた意見 4件

・アンケート回答者41名、HP4名、説明会発言28名 のべ73名の意見を項目別に記載

【町の政策等について】

○保護者世代からは、部活動、スクールバスの利便性、学校施設老朽化への対応について多くの意見が出された

○世代を問わず、今後の町の定住施策の推進を求める意見が多かった

【複式学級について】

○高齢世代や教職員経験者からは、複式学級や教頭担任による教職員への負担について意見があった

○複式学級について人数が少ないことによる漠然とした不安の声があったが、今回の答申案の説明により、少人数指導の良さに一定の理解が得られた

【再編について】

○再編については特に20代～40代の子育て世代から活発な意見があった

○「可能な限り小学校を存続する」という方針案については、色々意見もあったが、おおむね賛同する意見が多かった

○「中学校は再編を検討する」という方針案については、賛否両論あった

○特に中学校の再編を検討する場合に、位置のことや再編の時期について検討が必要であるとの意見があった

○きめ細かな指導やICT教育など飯南町らしさを活かした教育に期待する意見があった

○小中学校ともに、今後のスクールバスのあり方について検討すべきとの意見が多かった

○特別な支援を要する児童生徒や不登校などの課題に対応できる体制づくりが必要であるとの意見があった

【説明会に対する感想、答申のあり方について】

- 地区ごとに参加者数や年齢層は様々だったが、志々地区の説明会以外は総じて子育て世代が少なかった
- 子育て世代や住民向けの小グループの説明会や、住民会議などの手法の検討も必要ではないかとの提案があった
- 広報で特集記事を組んで概要を説明し、意見をいただくように働きかけているが、今のところ意見はない
- 検討委員会でも、今後の意見集約の手法について検討する必要がある